

Joint Statement

2021年8月28日

武田薬品工業株式会社
Moderna, Inc.

COVID-19 ワクチンモデルナ筋注の使用見合わせ対象ロットの接種者に関する 厚生労働省の発表内容について

武田薬品工業株式会社(以下、「武田薬品」)および Moderna, Inc.(以下、「モデルナ社」)は、COVID-19 ワクチンモデルナ筋注(以下、「モデルナ社製ワクチン」)を接種した方のうちお二人がお亡くなりになったという情報を厚生労働省より受けました。この悲しい事実に接し、尊い人命が失われたことを非常に深刻に受け止めています。お二人のご冥福を心よりお祈りするとともに、ご遺族の皆様にご心よりお悔やみ申し上げます。

現時点では、これらの死亡事例とモデルナ社製ワクチン接種の因果関係は確認されていませんが、今後、因果関係の有無に関する正式な調査を実施していくことが重要と考えます。

国内の供給を担う武田薬品と、ワクチンの製造元であるモデルナ社は、厚生労働省と協力しながら、両死亡事例について調査を行ってまいります。調査は、緊急性および透明性をもって誠実に実施し、両社は、新たな情報が得られた際には適時にお知らせしてまいります。

武田薬品は、特定のロットについて未使用のバイアル内に異物があるという複数の接種会場からの報告を受け、厚生労働省と連携し、異物混入の報告のあった当該ロットのほか、厚生労働省の判断に従い、同じ時期に同じ製造ラインで製造された2ロットを疑いのあるロットとして、計3ロットの使用見合わせを8月26日に決定しました。

武田薬品は直ちにモデルナ社およびモデルナ社が契約する欧州の製造会社に異物の緊急調査を依頼しました。わたしたちは、バイアル(ワクチンが入った小瓶)の中の粒子状異物の種類や性質を示す非公式の報告を認識しています。しかし、これらの報告は確定情報ではなく、粒子の正確な性質を決定する前に、正式な調査結果を得て確認することが重要と考えます。現在、モデルナ社による調査が継続中であり、結果がわかり次第、両社は速やかな情報の開示に努めます。モデルナ社は、分析のため適切な検査機関に検体を送付しており、検査結果の速報は来週前半に判明する予定です。

なお、8月27日時点で、今回の不幸な死亡事例に関連するロットの製品については、粒子状異物に関連した品質情報は報告されていません。

モデルナ社の COVID-19 ワクチンは、現在までに45カ国で2億回以上、1億1,000万人以上に接種されており、COVID-19の収束に向けた世界的な闘いにおいて、重要な一要素となっています。

その他 日本国内の COVID-19 ワクチンに関連する情報については、政府による公式サイトをご覧ください。https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html

以上